

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	・コロナについては一段落ついた状況になったとはいえ、「地域の方々」や「家族とのめんかひなどのふれあい」機会が少ない状況になった。	・コロナについては一段落ついた状況になり、(感染状況や高齢者施設ということを考慮するが)少しずつ「地域の方々」や「家族とのふれあい」機会を設ける。	・「各行事」や「地域とのかかわり」のある行事を見直し、計画・実践・評価を行う。With感染症(コロナ・インフルエンザ)の中で、馴染みの人や場との関係を大切にしていく。	12ヶ月
2	35	・発電機の稼働が「管理者」など一部の職員ができるだけである。災害時の状況を考えると、全職員が稼働できるのが望ましいと考える。	・発電機の稼働が職員ができるようにする。 ・災害備品関係(コンロや野外排せつ用品)の的確な使用ができるようにする。	・避難訓練だけでなく、研修等においても発電機の稼働だけでなく、コンロの使用や災害備品を使用をできるようにさせる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月